

→インタビュー後、町長室の自席にて



就任間もない川添町長に、自身のこと、まちへの思いなどを聞いてみました。

●町長ご自身の趣味は？

趣味といえる趣味はありませんが、ゴルフとか海遊びとか浜に行つて遊ぶことが好きですね。

●好きなことば、あるいは座右の銘がありますか？

好きなことばは『親近疎遠』です。人と親しくすることに慣れて人からも近づいてきてもらえるし、近づかないことには遠くなり、遠くなることによつて疎くなるということで、このこ

とを大事にして、できるだけ多く人と語り、動いていきたいです。

●長島町の好きなところは？

全部好きですが、自然に恵まれて、食べ物も豊富などころです。こういうところに生まれて、本当に良かったと思っています。

●新町の町長になられた印象は？

私ごときの者で果たして町長

としての重大な責任を負えるのかという多少の不安はありましたが、選挙を戦つて、現状の長島の中で「自分の気持ち、情熱、行動力を全力で投球すれば、良い町ができる」そんな気持ちがあります。

●長島町の魅力はどこだと思われませんか？

長島の魅力というのは、素晴らしい立地条件に恵まれている、例えば三県架橋の夢がほぼ実現しそうな場所であるし、もともと産業も農業・漁業と元気がある町だし、そういう魅力いっぱい町のようない感じがします。少し誘い水というか、そのようなものを加えてあげることによつて、さらに皆さんが豊かさの恩恵を受けられるのではないのでしょうか。

●新町の課題はどのようなどころだと思われませんか？

当面は、旧両町の融和をどのように図っていくかということ、一番の課題でしょう。それと、社会資本の都市と地方（田舎）の不均衡、追いつくまでとはいえないでしょうが、いかに都会

的な生活を感じとれるようなところまで引き上げられるか、相当地な財源的な問題がありますのでそこが課題でしょう。

●行政経験が豊富な町長ですが、行政から離れた時期に、一町民として役場を見たときの印象は？

住民に対する愛情という心配り、気配りといったようなものが行政にいたときにはあまり感じられなかったけれども、いざ離れてみてその大切さというものを知った気がします。もう一回立ち向かつてその気持ちをを取り戻そうと思っています。だから、「一人ひとりを大切にする福祉の充実した町づくり」につなげていきたいという気持ちです。

●最後に町民の皆さんへひとこと

私一人、あるいは議員、役場職員がいくら一人で頑張っても限られていると思います。やっぱり町民と一体となった町づくり、町おこしというものが大切だと思います。町民の皆さんのご協力をお願いいたします。